

定期演奏会

3年音楽科 新井 日葵

7月21日(月・祝) 於：サラムンカホール

♪ プログラム ♪

《第1部》

- 1 フルート独奏 ……太田 七瑞(2年)

ピアノ 高橋 玉緒(講師)

ユー ファンタジー

Reduction for flute and piano

- 2 ヲリネト独唱 ……山内 咲愛(2年)

ピアノ 高橋 玉緒(講師)

ヴィドール 序奏とロンド

- 3 サクソフォン独奏 ……林 柚月(3年)

ピアノ 田中 優花(3年)

グラズノフ アルタワフンと弦楽オーケストラのための協奏曲 Op.109

- 4 ピアノ独奏 ……新井 日葵(3年)

ショパン バラード第3番 Op.47

- 5 合唱

信長 貴富 混声合唱曲集『かなしみはあたらしい』より 未来へ

《第2部》

- 6 合奏

ラヴェル ラ・ヴァルス

- 7 ピアノ独奏 ……田中 優花(3年)

シューマン ウィーンの謝肉祭の道化

Op.26より第4曲、第5曲、フィナーレ

- 8 サクソフォン独奏 ……伊藤 玲南(2年)

ピアノ 高橋 玉緒(講師)

ブートリー ディヴェルティメント

- 9 トロンボーン独奏 ……岩間 大地(3年)

ピアノ 田中 優花(3年)

ボザ バラード



音楽科に入学する前から、何度も客席で聴いてきた定期演奏会。「いつかあのステージに立てたらいいな」と胸の奥で憧れていた舞台に立つことができ、嬉しい気持ちでいっぱいです。

今回演奏したのは、大好きな作曲家ショパンの『バラード第3番』。歌心と内に秘めた情熱に溢れたこの曲は、弾けば弾くほど魅力が深まり、気づけば夢中になっていました。しかし、好きな気持ちだけでは説得力のある演奏にはならず、身体のかみや、欲しい音色と実際に出ている音色のギャップ、ショパンらしさとは何かをたくさん悩み、自信をなくしてしまうこともありました。そんな時、先生は私のやりたい表現に寄り添いながら、様々な角度からのアドバイスを下さり、心を支えてくれました。

そして迎えた定期演奏会当日。憧れが強い分、嬉しい反面、プレッシャーに押しつぶされそうになっていました。しかし、本番直前に先生方や一緒に切磋琢磨してきた仲間たちに背中を押してもらい、ステージに立つことができました。温かな雰囲気の中、ホールの贅沢な響きを楽しみながら、最後まで心を込めて弾ききることができました。あの瞬間の達成感は今まで味わったことがないものでした。終演後、先生方や仲間、家族の顔を見た瞬間、胸の奥からいろいろな思いが込み上げてきました。初めて形となって叶った夢は今でも私の自信につながっています。私の中にある音楽に対する大切な想いやこだわりをたくさんの人と共有できたとても幸せな時間でした。頂いたお祝いのメッセージや感想から、形が残らない音楽だからこそ、聴きに來てくださった方々の心の奥深く響いていくのだと感じました。

最後に、楽しいことも苦しいことも共に乗り越えてき音楽的にも人としても尊敬できる仲間たち、真剣に向き合って指導して下さる先生方、私の「好き」を尊重して音楽科へ送り出してくれた家族のお陰で今の私があります。この経験を胸に、これからも音楽と真摯に向き合い、聴いてくださる方の心に届く音を求めて日々努力し続けていきます。